

第 38 期 全国青年ジャンボリー便り Vol.6

第 38 期全国青年ジャンボリーin 岐阜 6/15(土)～17(月)@東京・府中市
第 6 回 実行委員会を開催しました！

本番に向けて準備をどんどん進めています！
実行委員みんなの成長を感じる 3 日間でした！！



◎学習：政治は私たちの生活・仕事をどう変えてしまうのか

—主権者として生きるためにどうすべきか—

1 日目の学習企画では、首都大学東京教育学研究室的宮下与兵衛特任教授を講師に招き、日本と世界の政治・学生運動や教育現場での実情、今後の政治展望や私たち民医連職員に求められていることについてご講演いただきました。

みなさんは日本人の 20 代は 3 人に 1 人しか投票に行っていないことを知っていましたか？
OECD 諸国では 20 代の 3 人に 2 人以上が投票に行っているんです。(北欧は 80%以上！！)

なぜ日本人の若者は選挙に関心が低いのでしょうか？大きな理由として、誰に入れればいいのかわからない、選挙をしても世の中変わらない、と思っている方が多いそうです。

日本の高校では 1969 年から 2015 年まで政治教育や活動が法律で禁止されていました。

一方、欧米諸国では学校に組合があり、学校運営へ参加して予算や行事、校則も生徒たち中心に決め、自分たちの生活・環境は自分たちが作る、という子ども主体教育 (Student Voice Committee) が進んでいます。

子どもたちは「**自分たちの力で生活を変えられる！**」という体験を日々積み重ね成長しています。

近年の日本の教育現場は、文科省—教育長—学長、ですべてを決め生徒たちはそれに従う、という支配体制が進み、子どもたちが声を上げようとしても力で押さえつけられる時代となりつつあります。日本国憲法では国民主権、を謳っていますがどんどん独裁体制が強化されつつある中で、私たち民医連職員が声を出していくことが改めて必要、と先生はお話ししてくれました。

【講演を聴いた青年職員の感想】

- ・自分たちの生活に対する危機を再認識した
- ・このままでは年金を払っているのに貰えなくなるのでは？
- ・世界の若者の政治に対する関心が高くて驚いた
- ・家族や近い人たちとしっかり話をしようと思う
- ・投票に行かないと罰金、とかあればみんな行くかな・・・？
- ・私たちが選挙に行くことで自分たちの生活を守り、より良い社会を実現することができる、ということを学んだ。



私たちはこのままで大丈夫かな??

今の政治・世の中・自分の生活をもう一度見つめてみましょう。

◎各部門の進捗状況の報告

【運営部：1日目班】

開会式のスケジュール、総合司会が決定しました。
現在は開会式での出し物の下準備を進めています。

【運営部：大交流会】

交流会のスケジュールが完成しました。いまは企画毎にゲームなどの準備を進めています。
他班とも協力して参加者が楽しめる交流会を作っていきます！

【運営部：学習班】

記念講演の演者は、弁護士の白神優理子さんに決定しました。
皆さんが日頃“難しい”と感じているような社会や憲法・民医連綱領について、楽しくわかりやすく学び、自分のこととして捉えることができるような講演を依頼していく予定です。



【運営部：3日目班】

閉会式で行う催しを決定しました。
感動のフィナーレを楽しみにしてください♪

【広報部】

横断幕や記念品、グッズのデザインが決定しました。

【現地・岐阜より】

財政活動として岐阜高山の“朴葉みそ”を販売しています！
ぜひ皆さんご購入いただき、食べてください(*^_^*)



◎次回実行委員会日程

第7回全国JB実行委員会

2019年8月23日（金）～8月25日（日）@岐阜市

本番前最後の実行委員会になります！最高の本番を迎えるため、全力でがんばります！！